完 了 後 の 評 価 個 表

事業名	森	兵林環境保全整備事業	事業実施期間	平成19年度~平成23年度(5年間)			
事業実施地区名 一 (都道府県名)		ーツ瀬川森林計画区 (宮崎県)	事業実施主体	九州森林管理局 西都児湯森林管理署			
完了後経過年数		6年	管 理 主 体	九州森林管理局 西都児湯森林管理署			
事業の概要・目的		27年 13 27年 14 27年 15 27年 16 27年 17 27年 18 2	を表示のである。ツ体で、樹、な希資立果欠度図 有続に備施 新育設のツ体で、樹、な希資立果欠度図 有続に備施 新育設のツ体で、樹、な希資立果欠度図 有続に備施 新育設 のツ体で、樹、な希資立果欠度図 有続に備施 新育設 のから とい なる 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	かせない水資源の源流部となってお が極めて高いため、民有林との連携を ることが地域の重要な課題となってい する水源涵養機能、山地保全機能や保 的な発揮と併せ、木材の安定供給、地 も積極的に寄与するため、植栽等の更 を積極的に推進するとともに、それら			
① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化 ② 事業効果の発現状況		 2要因 なお、事前評価総便益及び総費月加及び公共事業言変更によるもので総費用(C)分析結果(B/C)分析結果(B/C)がおまでの実施を防止や水源涵養、 	平成30年度時点における費用便益分析結果は以下のとおりである。 なお、事前評価で算出した総便益及び総費用と完了後の評価で算出した 総便益及び総費用との間の差異については、補正予算等による事業量の増加及び公共事業評価に使用する単価、林野庁における統一的な算定方法の変更によるものである。 総便益(B) 25,278,416 千円(事業採択時:8,086,968千円※) 総費用(C) 4,473,386 千円(事業採択時:1,101,823千円※) 分析結果(B/C) 5.65 (事業採択時:7.34※) 本事業の実施を通じ、更新及び保育作業等の森林整備により地球温暖化 防止や水源涵養、山地保全等の公益的機能の維持増進が図られた。 また、林道等の開設・改良を実施したことにより、森林整備施業地まで				
	により整 設の管理	た。 を備さ 古くから木材を	上産や炭焼きが行わ	減など、森林整備経費の縮減が図られ れてきており、林業・木材産業への依 業で整備した森林は、ニホンジカによ			

	る食害が深刻な地域であるが、防護柵等の被害対策に努めており、継続して適正に管理を行っている。 また、本事業で整備した林道等は定期的に林道施設の点検、路面補修等を実施している。			
④ 事業実施による 環境の変化	森林整備の実施により、重視すべき機能(水源涵養等)の区分に応じた 良好な森林が形成されつつある。 また、適切な路網整備により伐採から植栽・保育まで作業の効率性が高 まり、作業コストの縮減、労働の軽減が図られるようになった。			
⑤ 社会経済情勢の変 化	本流域内の林業就労者は減少傾向にあり、森林組合等の林業事業体等の事業規模も小さい状況にある。 このような中、県等地方自治体では、新規林業就労者を確保するための対策に取り組む等、さまざまな支援を進め、林業の復興を積極的に進めている。 また、近年では、森林資源の充実に伴い皆伐が進み、更新箇所も増加している。国有林としても林業の振興に寄与するため、低コスト路網の整備を推進するとともに、山地保全、水源涵養など森林の公益的機能の発揮が図られるよう、森林の整備を進めることが求められている。			
⑥ 今後の課題等	森林の公益的機能を長期にわたって発揮させるため、引き続き森林整備などを適切に実施していく必要がある。 また、今後の事業実施においても、トータルコストの縮減に繋がる技術開発や地域振興に寄与するため、民国が連携した森林整備の進め方を検討することが求められている。			
地元の意見:	(西都市) 林道 (作業路)の開設により、森林整備に対する公益的機能の確保への効果をもたらしている。また、造林事業に対しては、土砂の流失防止、水源かん養、二酸化炭素排出抑制、地球温暖化の抑制等の公益的機能への効果は大きいと思われる。 本市においては、ニホンジカの数が多いので、造林及び育林に対して食害防止対策を講じる必要がある。 (都農町) 林道の開設・改良により、森林の整備が図られ、公益的機能の確保にも効果を発揮している。また事業者にとっては森林整備経費の縮減が図られる等、施業の効率化にもつながると考えられる。造林事業を行ったことで、土砂の流出防止、水源かん養等の公益的機能が適切に発揮されている。 (川南町) 路網の整備により、作業効率の高まりや、労働の軽減が図られるなど、環境の改善が為されるとともに、森林整備が進み公益的機能の確保にも効果を発揮している。 (西米良村) 本村における造林事業については、国有林野面積は少ないが水源涵養機能は元より、土砂災害防止による災害の抑制が図れている。 適正に施業管理が行われており、公益的機能を十分に発揮されている。			
森林管理局事業評価技 術検討会の意見	費用便益分析結果、森林・林業情勢その他社会経済情勢の変化、地元の 意向、また、森林整備事業を行うことにより、水源涵養や山地保全、木材 生産等の森林の持つ多面的機能の維持増進が図られてきており、事業の効 果が発揮されていると認める。			
評価結果	・必要性: 自然環境の維持、山地保全及び水源涵養等、公益的機能の 発揮及びニホンジカの被害防止対策の適切な実施等、地域の 要請に応えており、本事業の実施は必要と認められる。 ・効率性: コンテナ苗の導入や現地に即した路線選定を検討しコスト 縮減に努めるなど、費用便益分析の結果から十分な効率性が 認められる。			

	• 有効性:	国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な路網と森林整備の実施により、森林整備実施箇所へのアクセスの向上、コスト縮減が図られるとともに、森林の有する機能が十分に発揮され、引き続きその効果が発現されるものと見込まれるため、有効な事業と認められる。
--	--------	---

※事業採択時の評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。

便 益 集 計 表

事業名:森林環境保全整備事業

事業実施地区名:一ツ瀬川森林計画区

都道府県名:宮崎県

(単位:千円)

			(単位:十円)
大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
	洪水防止便益	9, 462, 903	
水源かん養便益	流域貯水便益	2, 444, 183	
	水質浄化便益	5, 147, 905	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4, 447, 171	
環境保全便益	炭素固定便益	1, 453, 927	
十	木材利用増進便益	577, 751	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	1, 396, 586	
森林整備経費縮減 等便益	森林整備促進便益	347, 990	
総便益(B)		25, 278, 416	
総費用 (C)		4, 473, 386	
費用便益比(B/C)	D: C	· = 5.65	
具用 供金儿(D/ b /	B ÷ C ——————————————————————————————————		

森林環境保全整備事業 一ツ瀬川森林計画区(宮崎県)事業概要図

ーツ瀬川森林計画区 (西都児湯森林管理署管内)

